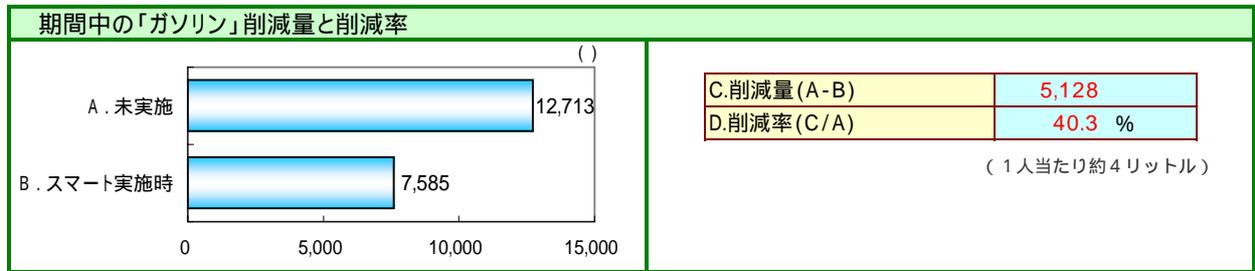
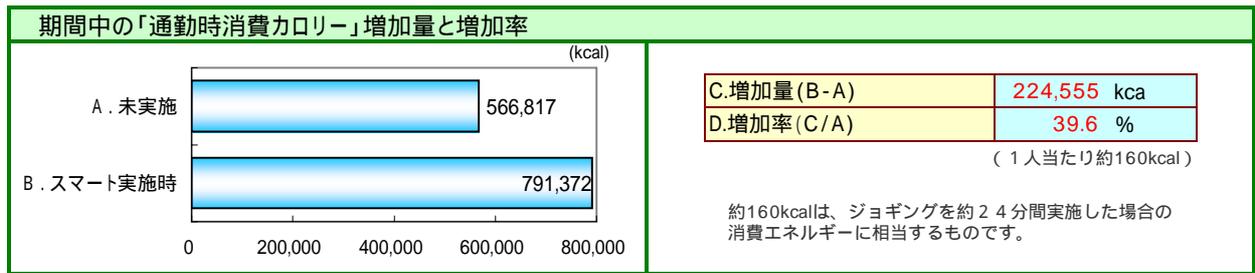
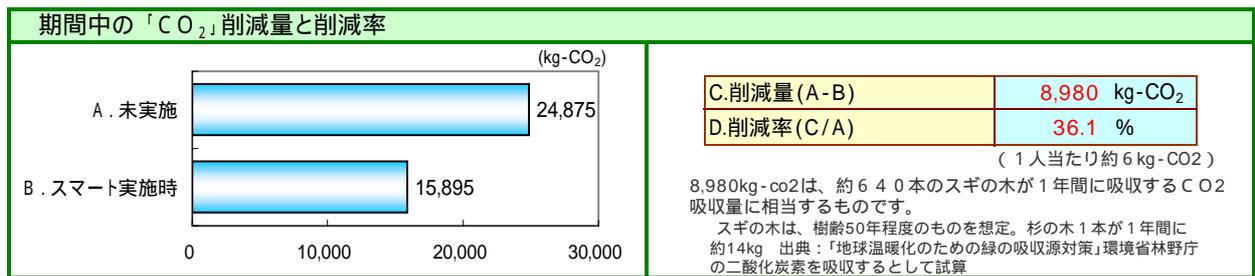
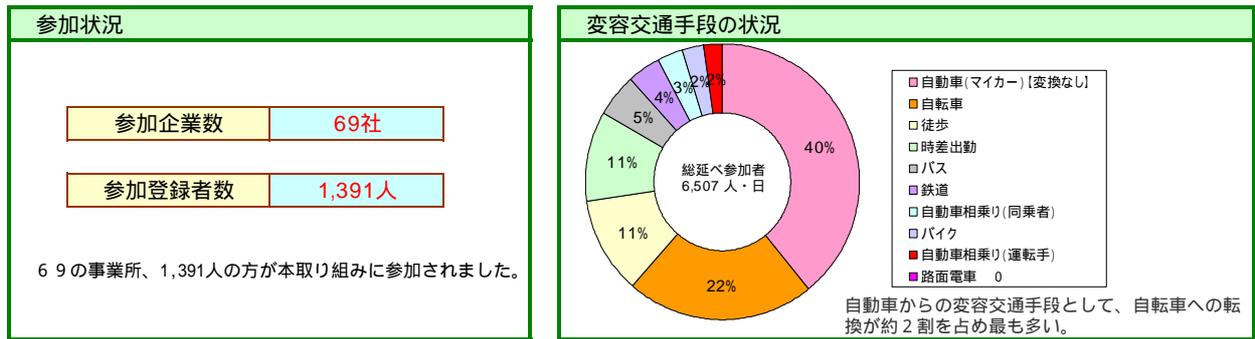


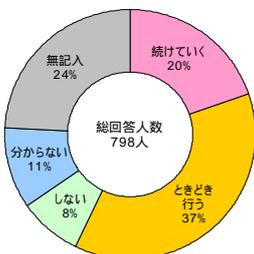
『スマート通勤おかやま』(10月22日～26日実施)の結果概要



備考) 「A.未実施」は、参加者のみなさんが通勤時に全てマイカーを利用した場合の数値です。
CO₂排出量:『平成14年度国土交通白書』、『平成11年度全国道路交通センサス 一般交通量調査』(国土交通省)
カロリー消費量:第6次改定日本人の栄養所要量(厚生労働省)
(カロリー消費量は、年齢42.5歳(岡山県平均)、体重を男性65kg、女性を55kgとして平均して計算しています。)
燃料消費量:『メーカー公表車種別燃料消費率』、『平成11年度全国道路交通センサス 一般交通量調査』(国土交通省)

【本取り組みに参加された方の声】

個人の交通行動を見直すきっかけとなった。
「通勤方法を見直す良い機会だった」「CO₂削減や渋滞緩和に対する意識向上につながる」等の声を頂きました。
取り組み期間が5日間では短い。
「期間が5日間では短すぎる」「年間を通じた取り組みが必要」等、取り組みに対する皆さまの積極的なご意見を頂きました。
クルマ通勤を止めることは非常に困難。
「クルマ通勤を止めることは難しい」「公共交通の利便性がよくないと継続は難しい」等の現状課題を指摘する声も見られました。



『今後も「スマート通勤おかやま」で実施した交通行動を続けますか?』の質問に対して、左記グラフのとおり約60%の方々から「続けていく」「ときどき行う」との回答を頂きました。みなさまの環境意識の高さ、出来る範囲での行動変容への意欲が伺えます。